



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより



ためし



電話で話すこと

最近の若者は、電話で話すことが苦手だと言います。確かに家庭の固定電話はすでになくなり、一人一台の携帯電話に移行してきました。

子どもであっても、安全や利便性を理由に、携帯電話（含スマホ）を買い与えることが増えてきたように感じます。

最近の雑誌記事によると、

友達の多くは、対面でなくSNS

になっているそうです。

文字や写真だけの会話は、私にとっては味気ないと感じるのですが、今は違うのですね。

SNSを通したコミュニケーションは、誤解も招きやすく、理解を受け手にゆだねてしまう危険性もあります。

私は、一番は対面で話をするのが大切だと考えています。

特に子どもたちのことを話題にする

のであれば、なおさら顔を合わせて話すことが重要であると考えているのです



HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」



令和7年5月28日号 文責 上久木田 雄二

時折、学校から家庭へお電話をします。学校からの電話は、「どきっ」とするとよく言われます。



- ①子どもの健康（病気）のこと
- ②子どもの怪我のこと
- ③子どものトラブルのこと
- ④子どもの学習状況のこと

などの話題が多いので、親としては大変気になるところだと思います。

特に①と②は、緊急性がある場合が多いので、時間帯を選ぶことができないことをご理解ください。



③や④の話題は、多くの場合放課後の電話となります。職員の勤務時間の中（16時45分まで）での連絡となりますことをお許しください。

いずれにしても電話は、一つのきっかけにしたいと思っています。

③や④を話題にするときは、学校に来ていただくことが一番だと考えています。

積極的にお誘いするように、私が職員に指導しています。ぜひ時間を合わせて、対面で子どもたちのことを話し合えればいいなと思っています。

